

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成 22 年 5 月 27 日 (2010.5.27)

【公開番号】特開 2008-265644 (P2008-265644A)
 【公開日】平成 20 年 11 月 6 日 (2008.11.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-044
 【出願番号】特願 2007-113821 (P2007-113821)
 【国際特許分類】

B 6 0 N **2/48** **(2006.01)**

A 4 7 C **7/38** **(2006.01)**

【F I】

B 6 0 N 2/48

A 4 7 C 7/38

【手続補正書】
 【提出日】平成 22 年 4 月 8 日 (2010.4.8)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

車両の座席に備えられたヘッドレストに高さ方向に沿って並設された状態で設けられ、前記座席に着座した人体の頭部と前記ヘッドレストとの間の静電容量を検知する複数の検知電極と、

前記複数の検知電極からの検知信号の最大値を検出し、前記頭部の高さ方向の推定中心位置を算出する検出回路と、

前記検出回路からの算出結果に基づいて、前記ヘッドレストの前記座席に対する位置を前記頭部の高さ方向の推定中心位置を基準にして調整する位置調整手段とを備え、

前記複数の検知電極は、前記ヘッドレストが静止した状態で前記頭部の高さ方向の推定中心位置を算出するのに必要な数設けられている

ことを特徴とするヘッドレスト位置調整装置。

【請求項 2】

前記複数の検知電極は、それぞれ前記ヘッドレストの前面側における前記高さ方向と交差する幅方向に長手方向を有する矩形短冊状に形成されていることを特徴とする請求項 1 記載のヘッドレスト位置調整装置。

【請求項 3】

前記複数の検知電極は、前記ヘッドレストの前面側に少なくとも 5 つ設けられていることを特徴とする請求項 1 または 2 記載のヘッドレスト位置調整装置。

【請求項 4】

前記検出回路は、前記複数の検知電極とそれぞれ一対一に接続され、各検知電極により検知された静電容量を示す情報を出力する複数の静電容量検知回路と、これら複数の静電容量検知回路からの前記情報に基づく静電容量を比較して前記推定中心位置を演算し、演算結果情報を前記位置調整手段に出力する演算処理回路とを備えて構成されていることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項記載のヘッドレスト位置調整装置。

【請求項 5】

前記検出回路は、前記複数の検知電極と接続された時分割回路と、この時分割回路により各検知電極にてそれぞれ異時的に検知された静電容量を示す情報を出力する静電容量検

知回路と、この静電容量検知回路からの前記情報に基づく静電容量を比較して前記推定中心位置を演算し、演算結果情報を前記位置調整手段に出力する演算処理回路とを備えて構成されていることを特徴とする請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項記載のヘッドレスト位置調整装置。

【請求項 6】

車両の座席に備えられたヘッドレストに高さ方向に沿って並設された状態で設けられ、かつ前記ヘッドレストが静止した状態で前記座席に着座した人体の頭部の高さ方向の推定中心位置を算出するのに必要な数設けられた複数の検知電極によって、前記人体の頭部と前記ヘッドレストとの間の静電容量を検知し、

検知された静電容量を示す前記複数の検知電極からの検知信号の最大値を検出して前記頭部の高さ方向の推定中心位置を算出し、

算出された前記頭部の高さ方向の推定中心位置を基準にして前記ヘッドレストの前記座席に対する位置を調整する

ことを特徴とするヘッドレスト位置調整方法。

【請求項 7】

前記複数の検知電極は、それぞれ前記ヘッドレストの前面側における前記高さ方向と交差する幅方向に長手方向を有する矩形短冊状に形成されていることを特徴とする請求項 6 記載のヘッドレスト位置調整方法。

【請求項 8】

前記複数の検知電極は、前記ヘッドレストの前面側に少なくとも 5 つ設けられていることを特徴とする請求項 6 または 7 記載のヘッドレスト位置調整方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

本発明に係るヘッドレスト位置調整装置は、車両の座席に備えられたヘッドレストに高さ方向に沿って並設された状態で設けられ、前記座席に着座した人体の頭部と前記ヘッドレストとの間の静電容量を検知する複数の検知電極と、前記複数の検知電極からの検知信号の最大値を検出し、前記高さ方向の推定中心位置を算出する検出回路と、前記検出回路からの算出結果に基づいて、前記ヘッドレストの前記座席に対する位置を前記頭部の高さ方向の推定中心位置を基準にして調整する位置調整手段とを備え、前記複数の検知電極は、前記ヘッドレストが静止した状態で前記頭部の高さ方向の推定中心位置を算出するのに必要な数設けられていることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

本発明に係るヘッドレスト位置調整方法は、車両の座席に備えられたヘッドレストに高さ方向に沿って並設された状態で設けられ、かつ前記ヘッドレストが静止した状態で前記座席に着座した人体の頭部の高さ方向の推定中心位置を算出するのに必要な設けられた複数の検知電極によって、前記人体の頭部と前記ヘッドレストとの間の静電容量を検知し、検知された静電容量を示す複数の検知電極からの検知信号の最大値を検出して前記頭部の高さ方向の推定中心位置を算出し、算出された前記頭部の高さ方向の推定中心位置を基準にして前記ヘッドレストの前記座席に対する位置を調整することを特徴とする。